

放射能対策に関する説明資料

H23.12/金沢へ説明

松戸市放射能対策協議会

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
食品対策会議	<p>▲農政課 保育課 保健体育課 学校給食担当室 消費生活課 みどりと花の課 水道部工務課</p>	<p>○給食等の対策 給食の安心確認及び児童生徒、保護者への不安の軽減を図るため、給食用食材について簡易測定を実施。 ・学校給食、保育所給食ともに週1回の測定を行いヨウ素、セシウムとともに定量下限値の20Bq未満となっていきます。</p> <p>○松戸産農産物の対策 松戸産農産物の安全性の確認と、市民の不安軽減を図るため、農家が生産販売する農産物について、サンプリング検査を実施。 ・松戸産農作物については11月24日までに87検体33品目の検査を実施し、暫定規制値を超える放射性物質は検出されておりません。 ・市民農園等で収穫された農産物等の測定を11月18日に実施。</p> <p>○水道の対策 ・松戸市営水道で配水している浄水は、毎日1回測定を実施。 放射性ヨウ素131・放射性セシウム134・137不検出(公表済)</p> <p>○講演会の開催 ・11月19日に放射能食品対策講演会を実施。</p> <p>☆9月補正予算対応 ・γ線スペクトロメーターLB2045 1台 (10/11納品)</p> <p>☆測定開始 ・松戸産野菜 10月11日 ・市立学校 給食食材 10月18日 ・市立保育所 給食食材 10月17日</p>	<p>○給食等 ・給食等の測定を強化。</p> <p>○松戸産農産物 ・農産物の放射性物質の測定を毎週実施。 ・市民農園等で収穫された農産物等の測定。</p> <p>○水道の対策 ・引き続き毎日1回測定を実施。</p> <p>☆12月補正予算対応 γ線スペクトロメーター 2台 設置時期 平成23年12月下旬 設置場所 未定</p>

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
環境低減対策会議	<p>▲環境保全課 保育課 子育て支援課 公園緑地課 21世紀森と広場管理事務所 道路維持課 教育施設課 教育総務課 学務課 保健体育課 スポーツ課 青少年課</p>	<p>○公園関係 [一般の公園緑地] ▶5月から9月までの間、352箇所の公園緑地について、広場中心点の放射線測定を実施しHPにて公表。 ・各公園緑地の詳細測定（スポット調査）を10月25日から実施し、HPや現地の看板で、公園緑地毎の放射線量マップを公表。 ・測定結果により、除染作業の優先順位を決定する。ただし、$1.0 \mu\text{Sv}/\text{h}$を超えた場所は、緊急対応する。 ▶除染作業までの間の暫定措置として、高線量の情報があった場合、市で再測定し$1.0 \mu\text{Sv}/\text{h}$を超えた場所について緊急対応を行った。 ・9公園で実施。（うち6公園が$1.0 \mu\text{Sv}/\text{h}$を超え、残りの3公園は$1.0 \mu\text{Sv}/\text{h}$に近かった為、砂場、植栽地、草地、広場の一部で実施した。） ▶除染作業は、詳細測定の結果により、砂場の放射線量が高いところから松戸市の指標値を目安として、12月2日より実施している。 ・第一段階として、砂場、遊具の下、U字溝や枠などを対象に実施している。（砂場は砂の入れ替え、遊具の下は天地返しや表面切除などの対策を行う。） [21世紀の森と広場] ▶5月から定点観測値（2週間に1回の測定）として、パークセンター前広場（コンクリート）で放射線測定を継続して行い、HPなどで公表。 ・地上50cmの高さの測定値は、6月6日は$0.375 \mu\text{Sv}/\text{h}$であったが、9月に高圧洗浄を行ったところ、10月11日の定点観測では$0.211 \mu\text{Sv}/\text{h}$となっている。なお、今後も継続して計測。 ▶園内各所で放射線低減対策を実施。（数値は地上50cm） ・8月25日、中央口前広場から光と風の広場へのプロムナード（コンクリート平板舗装部）【作業前$0.248 \mu\text{Sv}/\text{h}$ ⇒ 作業後$0.230 \mu\text{Sv}/\text{h}$】 ・光と風の広場の芝生地の低減対策（芝破碎機（フィールドトップメーカー）による厚さ約1.5cmの深刈り約$28,000 \text{m}^2$）を実施。【作業前$0.400 \mu\text{Sv}/\text{h}$ ⇒ 作業後$0.182 \mu\text{Sv}/\text{h}$】 ・スポット調査を11月7日から10日に実施し、HPや園内に放射線量マップを公表。</p>	<p>○公園関係 [一般の公園緑地] ・除染作業の第二段階は、広場を中心に実施する。（天地返しや表面切除などの対策を行う。） ・除染作業後についても、HPや現地の看板で、公園緑地毎の放射線量マップを公表する。</p> <p>[21世紀の森と広場] ・来年3月頃には、光と風の広場のうち、芝破碎機で作業できなかった部分の芝生地の除染作業を実施する。 ・除染作業後についても、HPや園内に放射線量マップを公表する。</p>

松戸市 $0.3 \rightarrow (\frac{12}{65})$ $0.23 \mu\text{Sv}/\text{h}$

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
環境低減対策会議	<p>▲環境保全課 保育課 子育て支援課 公園緑地課 21世紀森と広場管理事務所 道路維持課 教育施設課 教育総務課 学務課 保健体育課 スポーツ課 青少年課</p>	<p>○保育所、学校、その他関係 (1) 測定について ・子どもの安全安心を最優先とした市内全体測定については、関係課と連携をとって5月23日から測定を開始し10月18日をもって全地点144ヶ所（保育所19ヶ所、学校65ヶ所、子どもの遊び場60ヶ所）を終了し、これまでに複数回実施の測定を実施。その後、市営住宅23ヶ所の測定を実施。 ・小学校44校の通学路の放射線測定を11月10日より25日までで実施。</p> <p>(2) 対応について ・10月に全市立保育所19所、全市立学校65校に、環境放射線簡易測定器と個人積算線量計を配備。 ・市立保育所は、9月9日までに放射線量が局的に高い地点（$0.3 \mu\text{Sv/h}$）の表土除去。現在は全ての保育所で$0.3 \mu\text{Sv/h}$を下回っています。 ・学校の中で、数値が高かった3校（貝ノ花小、馬橋北小、新松戸南小）は、既に校庭部分の除染を実施。現在は$0.3 \mu\text{Sv/h}$を下回っています。 ・市立学校に配備された簡易測定器を使用し、学校敷地内の子どもたちの動線を中心とした放射線量を測定し、各校の校庭5地点と動線を中心とした10地点 計15地点の測定結果、及び線量の高い場所の低減対策を記載した「校内放射線量マップ」を作成。</p> <p>○私立幼稚園 ・市による放射線量測定（2回目）を希望する私立幼稚園の測定を10月28日より実施。</p> <p>○学校等周囲の側溝 ・市内の保育所、小学校について、施設周囲の側溝について、土砂等堆積していれば清掃の実施。</p>	<p>○保育所、学校、公共施設関係 (1) 測定について ・市内12ヶ所の定点測定については、引き続き2週間に1回実施し、推移を確認。 ・保育所、学校、公園以外の公共施設について順次測定を実施予定。</p> <p>(2) 対応について ・保育所は個人積算線量計を用いて、保育所内外で、乳幼児が年間被ばくする量を推計。 また、簡易測定器を用いて、放射線が局的に高い箇所を特定し、継続的に低減対策を実施。 ・学校は、個人積算線量計を用いて、生徒が年間被ばくする量を推計。</p> <p>○学校等周囲の側溝 ・市内の中学校、幼稚園等について、関係課と連携して、施設周囲の側溝清掃を実施予定。</p> <p>○一般市民対応 ・測定器購入補助金の制定</p>

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
環境低減対策会議	<p>▲環境保全課 保育課 子育て支援課 公園緑地課 21世紀森と広場管理事務所 道路維持課 教育施設課 教育総務課 学務課 保健体育課 スポーツ課 青少年課</p>	<p>○一般市民対応 ・12月6日より測定器の貸出</p> <p>☆5月に購入した機器 ・環境放射線モニタRadi 3台</p> <p>☆9月補正予算対応 ・シンチレーションサーベイメータ NHC 3台 ・環境放射線モニタRadi 89台（学校、保育所、公園等） ・個人積算線量計 84台（学校、保育所） ・高圧洗浄機 19台（市立保育所） ・放射能対策補助金200,000円×28所分（民間保育所） ・放射能特別対策補助金200,000円×40所分（私立幼稚園） ・除染備品購入費補助金200,000円×2施設（幼児教室） ・所庭整備（市立保育所） ・校内側溝清掃、校地整備（市立学校） ・学校等周囲の暗渠、側溝清掃 ・詳細測定及び、遊具の下や広場などの天地返しや表面切除、砂場の砂入れ替えなどの除染作業（一般の公園緑地） ・芝の深刈り（21世紀の森と広場）</p>	<p>☆12月補正予算対応 ・環境放射線モニタRadi 90台（貸出用） ・購入費補助費 50,000円×395町会分</p>

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
焼却灰等対策会議	<p>▲環境計画課 環境計画課 施設担当室 環境業務課 クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター 日暮クリーンセンター 東部クリーンセンター</p>	<p>○剪定枝関係 クリーンセンターの飛灰から基準を超えるセシウムが検出されたことから、主な原因とされる剪定枝を分別収集し日暮最終処分場に仮置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分場面積 8,587 m² ・仮置き場 第1次 2,500 m³ 保管可能量 約1,900 t 保管量 11月9日現在 約2,150 t ・一日の搬入量 11月は24 t位 当初見込み20 t程度から大幅増加しており、特に家庭から出されるものが多い傾向にある。 <i>多く時は30t以上</i> ・日暮クリーンセンターの一時保管が限界となってきていることから、11月18日よりクリーンセンターで試験的に剪定枝の焼却を再開。 <p><i>135へ搬入する予定です。 (4000延えぬ)</i></p>	<p>○剪定枝関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日暮最終処分場内や日暮最終処分場以外の環境担当部施設等で仮置き場の追加を検討。候補地等については住民説明で理解をいただく。 ・市の各部局や国、県の機関に、剪定枝等の独自保管等を要請。 ・東京電力(株)等へ一時保管場所等の提供要求。

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応																								
焼却灰等対策会議 ▲環境計画課 環境計画課 施設担当室 環境業務課 クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター 日暮クリーンセンター 東部クリーンセンター		<p>○焼却灰等関係 (1) 焼却灰等の放射能濃度 国の暫定埋め立て基準値 8,000Bq/kg 民間自導半 8,000. ・和名ヶ谷クリーンセンターでは、主灰、飛灰共に基準をクリアしている。 ・クリーンセンター 主灰は基準をクリアしている。 飛灰は基準値を超過。</p> <p>最新データ</p> <table> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>試料名</th> <th>放射能濃度</th> <th>採取日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリーンセンター</td> <td>飛 灰</td> <td>10,500</td> <td>11月1日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1号主灰</td> <td>473</td> <td>11月1日</td> </tr> <tr> <td>和名ヶ谷クリーンセンター</td> <td>飛 灰</td> <td>3,860</td> <td>11月1日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1号主灰</td> <td>531</td> <td>11月1日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2号主灰</td> <td>471</td> <td>11月1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>単位 : Bq/kg</p> <p>(2)一時保管量 23年11月14日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和名ヶ谷クリーンセンター飛灰 コンテナ2台分 19.78 t ・クリーンセンター飛灰 107.64 t (フレコンバック175袋) (内訳 : 搬入路下25袋 15.69 t、駐車場150袋 91.95 t) <p>☆9月補正予算対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境放射線モニタRadi 3台 (六実、和名ヶ谷、日暮CC) ・個人積算線量計 14台 (六実、和名ヶ谷、日暮CC) ・焼却灰等放射性物質測定 (六実、和名ヶ谷CC) ・剪定枝等受入、搬出処分委託 (日暮CC) ・脱水汚泥、活性炭、放流水放射性物質測定 (東部CC) ・汚泥処分に伴う産廃収集運搬、処分先変更 (常盤平衛生処理場) 	施設名	試料名	放射能濃度	採取日	クリーンセンター	飛 灰	10,500	11月1日		1号主灰	473	11月1日	和名ヶ谷クリーンセンター	飛 灰	3,860	11月1日		1号主灰	531	11月1日		2号主灰	471	11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター飛灰発生量が1炉運転時で約1t、2炉運転時で約2tなので、駐車場には年内いっぱい満杯。 ・クリーンセンター場内で拡張できる場所を探すとともに、その他、部内施設での仮保管場所を検討。候補地については住民説明でご理解をいただく。
施設名	試料名	放射能濃度	採取日																								
クリーンセンター	飛 灰	10,500	11月1日																								
	1号主灰	473	11月1日																								
和名ヶ谷クリーンセンター	飛 灰	3,860	11月1日																								
	1号主灰	531	11月1日																								
	2号主灰	471	11月1日																								

対策会議名	担当課	これまでの対応	今後の対応
健康管理対策会議	▲保健福祉課	<p>○講演会関係（9月補正予算で対応） 「安心して子供を育てるための」放射線講演会を開催。 8月25日（木）市民劇場 — 285名 参加 11月 9日（水）小金保健福祉センター — 54名 11月14日（月）常盤平保健福祉センター — 82名</p> <p>○放射線の影響について •市民の健康を守るために、検診等の内容及び実施機関の調査 •福島県で実施されている健康診査を参考に調査・研究を進める</p>	<p>○放射線講演会の実施 •引き続き講演会を実施 12月11日（日）中央保健福祉センター</p> <p>○市民の健康を守るために、市内医療機関への協力体制の働きかけ</p>